

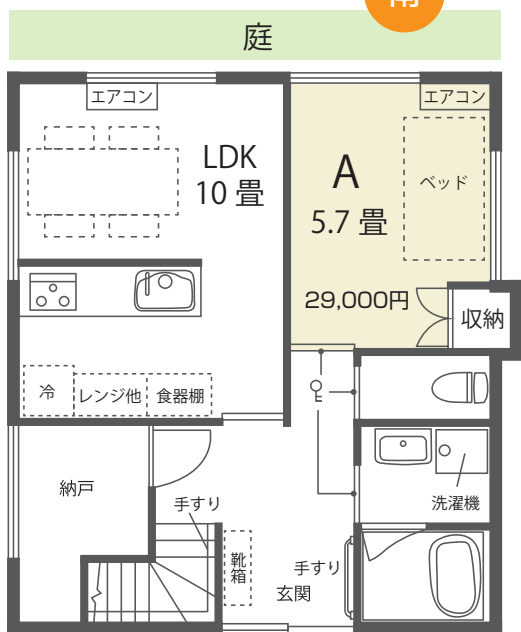
# 「共生ハウス 西池袋」間取り図

閑静な住宅街の中にある一戸建て（2階建て）住宅です。小さな庭がついています。



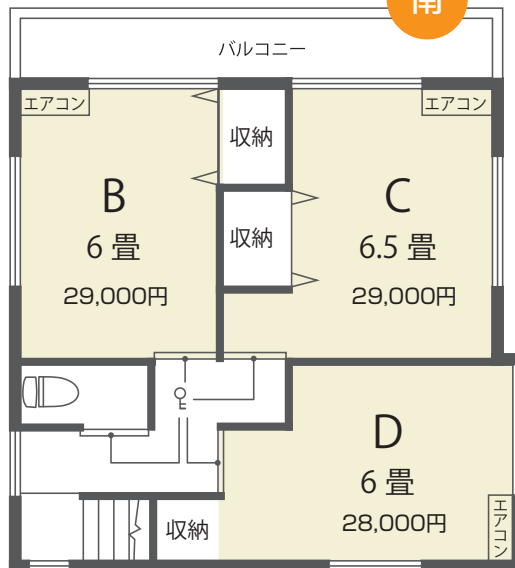
1階

南



2階

南



「豊島区の家賃低廉化補助(30,000円)と協会基金から20,000円を受けられる方」  
※家の前は私道。閑静な住宅街の中にあります。



各室には、エアコン、収納、Wi-Fi設置



共有リビングにはダイニングテーブル、テレビ



冷蔵庫、電子レンジ、調理器具、食器等完備

ご入居までの手順

ご見学 ▶ 必要書類提出 ▶ 選考 ▶ 選考結果通知

## 国土交通省令和元年度 住まい環境整備モデル事業 「空き家を活用した『としま・まちごと福祉支援プロジェクト』」について

空き家を活用して、孤立と貧困を解決する多世代多文化のコミュニティを豊島区でつくる!

この旗を掲げ、わたしたちコミュニティネットワーク協会は昨年来、行政はじめ、障がい者や子どもたちの支援をする社会福祉法人やNPOの方々、地域のたくさんのみなさんと話し合いや勉強会を続けてきました。

それを受けてまとめたプランが「空き家を活用した『としま福祉支援プロジェクト』」です。このプランは昨年12月、国土交通省の「令和元年度住まい環境整備モデル事業」に選ばれました。

このプロジェクトには2つの柱があります。ひとつは、豊島区内に点在する空き家物件をセーフティネット住宅

(高齢者、障がい者、子育て世帯などの入居を拒まない賃貸住宅)として整備すること。

もうひとつは、空き店舗などを活用して「2つのコミュニティ拠点」を作り、デイサービスと障がい者の就労支援、24時間365日の見守り、相談、緊急対応のしくみをつくること。交流拠点は文化発信基地となり、セーフティネット住宅の入居者はもちろん、地域のみなさんも安心して楽しめる場所として活用する、というものです。

これにより、住み慣れた地域で自分らしく最期まで住み続けられる仕組みを豊島区で作り、孤立と貧困、空き家の増加が深刻化する東京23区に広げていきたいと考えています。

